TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝照明制御コントローラ取扱説明書 〈基本機能編〉

保管用
233265C

対象器種	DF−70403
適合負荷	東芝調光形インバータまたは、電源ユニット(4線式)を搭載する照明器具

このたびは東芝照明制御コントローラをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は電源周波数に関係なくご使用できます。
調光形インバータまたは、電源ユニット(4線式)を搭載する照明器具以外の負荷にはご使用できません。

- **素人工事は法律で禁じられております。**

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

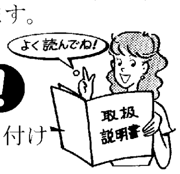
- **工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。**

工事店様へ　施工上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源線接続の際は、7.(1) **電源電線の接続**に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。

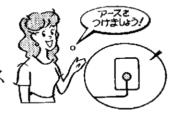
取り付け



電源線接続

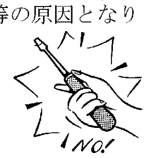
- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

アース工事



- 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造

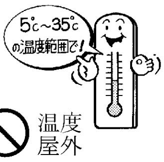


- この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、器具を取り付ける前に断熱材・防音材の施工法に従って施工してください。施工に不備がありますと火災の原因になります。

断熱施工

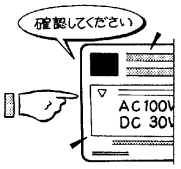
⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5℃〜35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因になります。



温度屋外

- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±10%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますと短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)



電源電圧

- **お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。**

お客様へ　使用上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

電源を切って

- 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。

可燃物

- 器具の隙間などに金属物など差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。

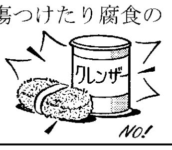
⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 器具を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。

薬品類

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

金属部分



- **この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)**

⚠お願い

- **ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。**

目　　　次

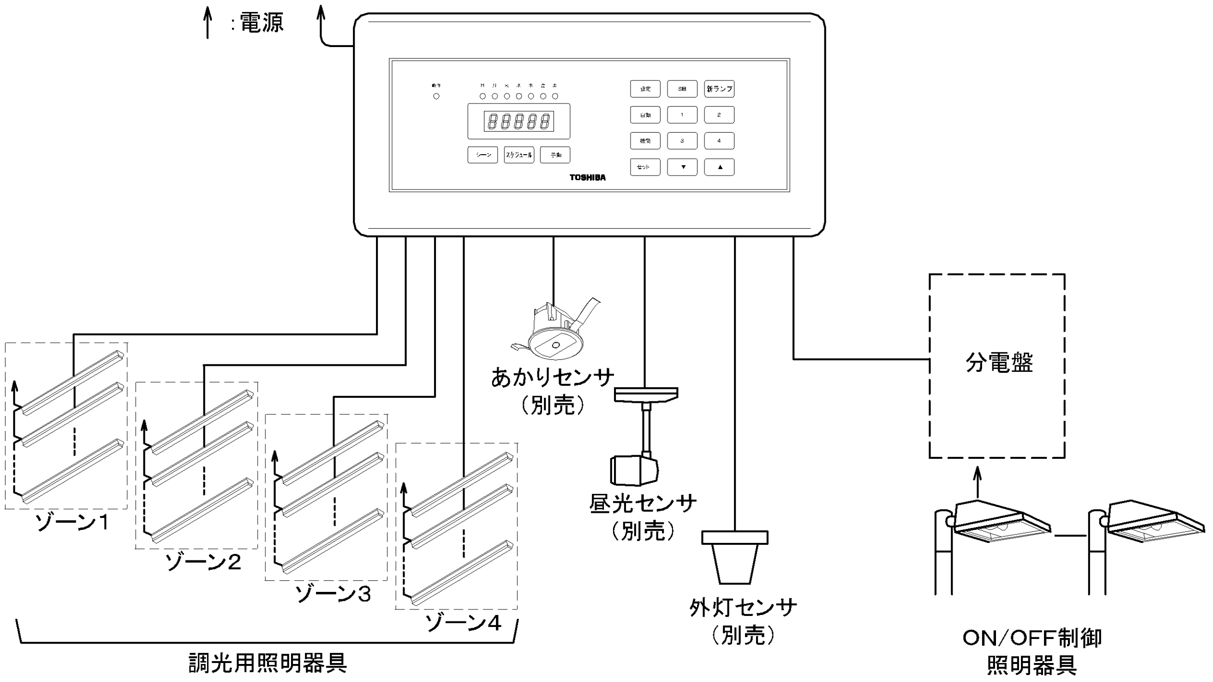
１．安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．システム構成と使い方
　３－１ 概要とシステム構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　３－２ 使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　３－３ ご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
４．おもな機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
５．各部のなまえと端子接続図
　５－１各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　５－２拡張機能に使用する別売商品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　５－３信号端子台接続図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
６．ＬＥＤ表示部の表示内容
　６－１「電源表示ＬＥＤ／ランプ交換時お知らせＬＥＤ」・・・・・・・・・・・７
　６－２「ＬＥＤ表示部」の意味と操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
７．施工方法とご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
８．施工後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
９．まず調光してみるには（一時調光モード） ・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
１０．基本設定
　１０－１ 設定内容について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　１０－２ 時計の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　１０－３ 初期照度補正の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
１１．運用の設定
　１１－１ シーン設定（シーン調光モード） ・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　１１－２ スケジュール設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　１１－３ スケジュールの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
１２．設定内容の確認方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
１３．運転の種類と操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
１４．自動運転中の各種表示の確認方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
１５．初期状態にもどす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
１６．ランプ交換時の操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１７．出荷時の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
１８．仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

この取扱説明書は、<基本機能編>です。あかりセンサ等センサを使用する場合は取扱説明書<拡張機能編>を参照ください。
<拡張機能編>は当社ホームページからダウンロードができます。

3. システム構成と使い方

3－1 概要とシステム構成

このコントローラは、当社製4線式調光用照明器具と組み合わせて使用することができます。
下図のように、あかりセンサや、昼光センサと組み合わせ、適正照度制御や昼光連動制御が可能です。
また、外灯センサと組み合わせ、分電盤のリレー制御回路などと接続することで、外の明るさに連動して、外灯のON／OFF制御をおこなうことが可能です。



センサは、あかりセンサ、昼光センサ、外灯センサを合計で最大4系統分接続ができます。

3－2 使い方

（1）このコントローラは、調光用照明器具の明るさを制御する、調光信号出力を、4ゾーン分備えています。
このコントローラと、調光用照明器具を組み合わせ、調光制御ができます。
4ゾーンの調光回路の明るさ（調光％）を設定することにより、手動で明るさを切り替えたり、あらかじめ設定した時刻に明るさを切り替えることができます。

（2）コントローラのボタン操作で、あらかじめ設定・記憶した4系統の明るさを、手動で切り替えることができます。
記憶済みの明るさは、ボタン操作により変更することができます。＜4.（2）項シーン制御＞

（3）タイムスケジュール制御は、曜日毎に異なるスケジュールで明るさを切り替えることができる、週間スケジュール方式です。
曜日毎のスケジュールは、あらかじめ日スケジュールとして記憶した複数のスケジュールを、曜日毎に選択設定して使用します。＜4項 シーン制御，スケジュール制御＞
※年間スケジュール機能はありません。

（4）さらに、別売のセンサ（あかりセンサまたは昼光センサ）と組み合わせることにより、センサで検知した明るさ状態を元に、照明器具の明るさを切り替えることができます。
あかりセンサは、天井面に設置し、床面の明るさを検知して制御を行います。
設置およびご使用に際しては、必ず次の「3－3項 ご注意」を参照してください。
※あかりセンサ調光、昼光センサ調光については、別冊 取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。

（5）別売の外灯センサと組み合わせることにより、外灯のON／OFF制御を行う信号を出力しますので、外の明るさに応じてON／OFF制御ができます。設置およびご使用に際しては、必ず次の「3－3項 ご注意」を参照してください。
※外灯センサ制御については、別冊取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。

3－3 ご注意

（1）このコントローラには、過電流および漏電保護機能はありませんので、必ず分電盤にブレーカを設けてください。

（2）各信号線のメガーチェックは行なわないでください。コントローラが故障する可能性があります。

（3）調光信号線を短絡しないでください。動作不具合となります。

（4）このコントローラは、当社製4線式調光用照明器具との組み合わせが必要です。その他の照明器具との組み合わせはできません。

（5）調光信号出力、センサ、センサ入力に、AC100VまたはAC200Vなどの強電線を接続しないでください。故障します。

（6）各信号線は、照明器具間の送り配線を除き、電源線および他機器のケーブルとは30cm以上離して配線してください。

（7）あかりセンサの設置，使用条件は以下の通りです、

①天井高さ3mが最大設置高さです。3m以下の高さに設置してください。

②反射の多い床面の場合、制御明るさが変動する場合があります。
コンビニエンスストアなどの高反射床の場合には、明るさ設定が正しくできない場合があります。

③設置天井面下2mの高さで、直径約2．5mの範囲の平均の明るさを検知します。
センサ下に、スポット的な照明光が当たる等、明るさの変化がある場合は、制御明るさが変化します。

④次のような場所には配置しないでください。
・直下に、背の高いロッカーなどがある場所。
・人の集中移動があるなど、センサへの反射が大きく変化する場所。
・センサで制御する照明器具以外の光が入射したり、変化するような場所。
・壁面近くの場所。

⑤あかりセンサを複数使用する場合は、検知範囲が重複しないように配置してください。
検知範囲が重複すると、明るさが上下動を繰り返す原因になります。

⑥窓面から、(天井高さ÷1．6)m内側に設置してください。
窓側近くに設置した場合、外の明るさを検知し、正しい制御を行いません。

⑦動作範囲は、天井面照度で、約30～1000lxの範囲です。
あらかじめ、照明設計段階でご確認ください。

※別冊　取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。

（8）昼光センサは、十分に昼光が入る場所で窓から40cm以内に設定してください。
樹木等で十分な採光が得られない場合は正しい動作をしません。

（9）外灯センサは、ビルの谷間や樹木の陰など、空からの光が遮られない壁面に設置してください。
設置位置が適切でない場合は、点灯／消灯が適切でなくなったり、または、外灯が点灯したままになる場合があります。昼の明るさで、センサ面が300lx以上必要です。

4．おもな機能

（1）ゾーン調光
照明の区分（ゾーン）ごとに明るさを設定して、4ゾーン分の調光制御ができます。
コントローラの調光出力1に対応するゾーンをゾーン1、調光出力2に対応するゾーンをゾーン2、以下、同様に、調光信号出力№.に対応する調光区分が、ゾーン№.になります。

（2）シーン調光制御
4つのゾーンの明るさを任意に組み合わせ、シーンとして記憶します。8シーンまで記憶でき、手動でのシーン制御やスケジュール運転ができます。
シーンは、各ゾーン毎に、記憶した明るさを再生する「固定調光」，あかりセンサと組み合わせる「あかりセンサ調光」，昼光センサと組み合わせる「昼光センサ調光」のいずれかを登録することができます。
センサ調光については、取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。
シーンの構成例

シーン1	ゾーン1：60%	シーン2	ゾーン1：80%
	ゾーン2：80%		ゾーン2：70%
	ゾーン3：75%		ゾーン3：80%
	ゾーン4：85%		ゾーン4：90%

（3）スケジュール制御
24時間の内蔵タイマーで、指定時刻に、あらかじめ記憶したシーンを再生します。
例えば、お店の開店前のシーン，開店中の繁忙時間帯のシーン，お客様の少ない時間帯のシーンなど、それぞれの再生したい時刻に、記憶済みのシーン番号を設定記憶し、再生を行います。

（4） 初期照度補正制御

蛍光ランプやLEDは、ランプ使用開始時には明るく、点灯時間が累積するに従って明るさが低下します。使用開始時の明るさを抑制し、使用時間経過するに従い、ランプの明るさ補正し、明るさが一定に近くなるように調光制御する「初期照度補正制御」を行います。

初期照度補正制御については、本説明書末尾の参考資料も参照ください。

（5） あかりセンサ調光 （説明は取扱説明書<拡張設定編>に記載しています。）

あかりセンサは、天井面に設置して、床面などからセンサ面に入射する光の量に応じて 照明制御する場合に使用します。制御は、コントローラに記憶した目標照度値（lx）に近づけるように明るさを制御します。

また、制御明るさに制限を設ける上限，下限設定を行うことが可能です。

例えば、外光が十分入射する場合でも、必要レベル以下には、照明を大きく調光したくない場合などに下限設定を行います。

（6） 昼光センサ調光 （説明は取扱説明書<拡張設定編>に記載しています。）

昼光センサと組み合わせることにより、昼光が十分に入射する間は、昼光の明るさを利用し、昼光が入射するゾーンの照明を抑えて点灯し、昼光入射が少なくなった場合に明るく制御します。

昼光センサ調光は、1つのシーンの中で、昼光有無により、明るさを変えられる制御です。

各ゾーン毎に、昼光センサ制御要否をあらかじめ設定します。

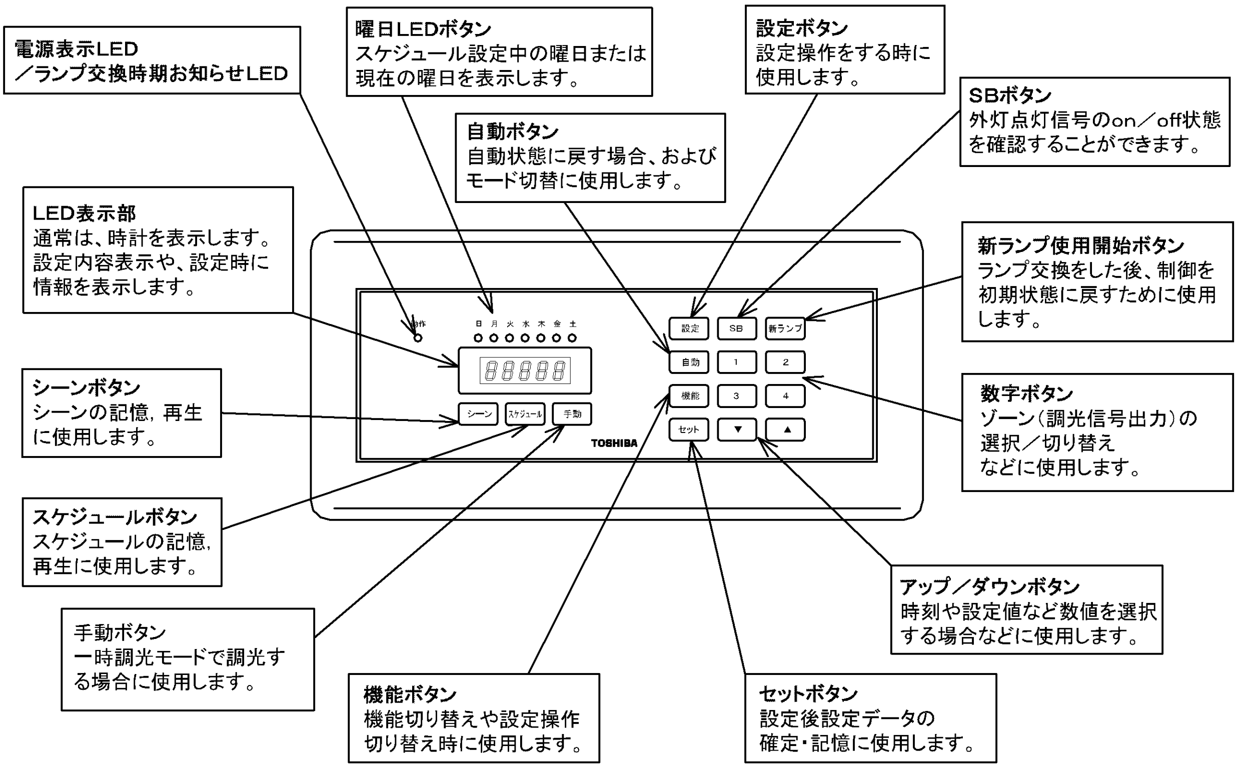
（7） 外灯センサ制御 （説明は取扱説明書<拡張設定編>に記載しています。）

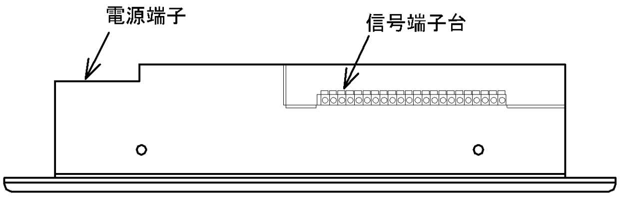
外灯センサと組み合わせることにより、外の明るさに応じて外灯や看板灯を点／消灯する信号を出力することができます。点／消灯信号は、電灯分電盤に制御回路※を設けることで、組み合わせて制御することができます。外回り周囲の明るさ状況により、外灯の点灯するタイミングを設定変更することができます。

※電灯分電盤内に、DC12V補助リレーおよびマグネットコンタクタなどの、信号受信機能とON／OFF機器で構成します。

5. 各部のなまえと端子接続図

5−1 各部のなまえ

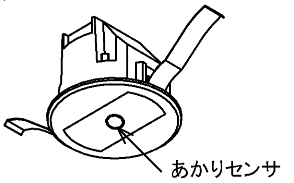


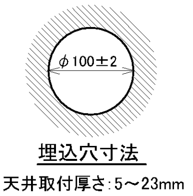


5－2 拡張機能に使用する別売商品　下記以外のセンサ及び他社製センサは使用できません。

（1）あかりセンサ子機（あかりセンサ）

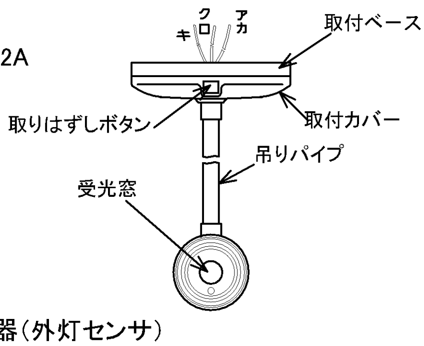
形名：DF-20205NX

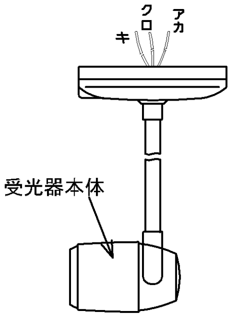




（2）昼光センサ

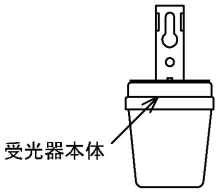
形名：TMSNJ02A

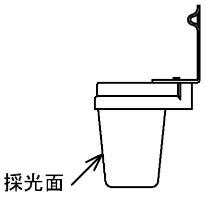




（3）光センサ受光器（外灯センサ）

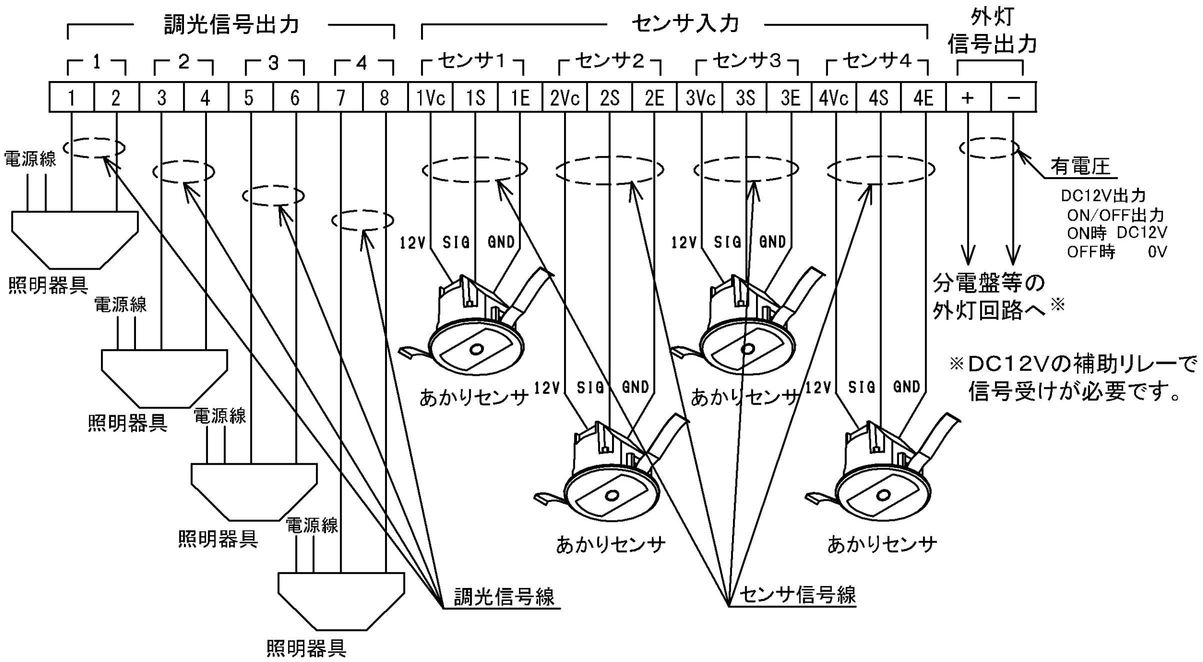
形名：TMSNJ05A



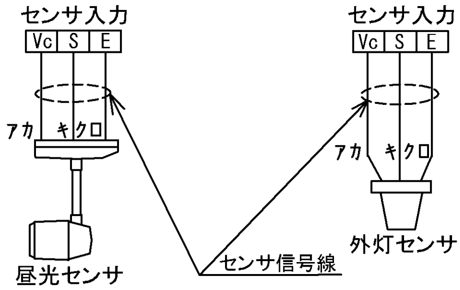


5－3 信号端子台接続図

接続端子　（パネル面上側から見た配列です）

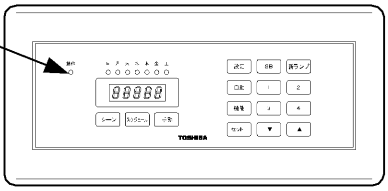


※センサ1～センサ4には、昼光センサまたは外灯センサを接続することができます。
昼光センサ、外灯センサの接続は下図のようにします。



6. LED表示部の表示内容

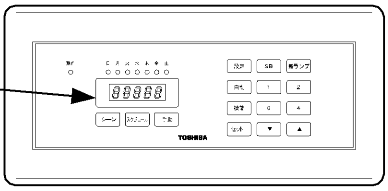
6－1 「電源表示LED／ランプ交換時期お知らせLED」



（1）電源　ON時　　グリーン点灯
　　　　　OFF時　　消灯

（2）ランプ交換時期お知らせ表示
　グリーン　：通常時はグリーンで点灯
　赤点滅　：ランプ寿命時間の約200時間前になると、赤の点滅表示になります。ランプ交換お勧め時期であることを表します。
　赤点灯　：ランプ寿命時間に達すると点滅が止み、赤表示が点灯したままとなります。ランプを交換してください。

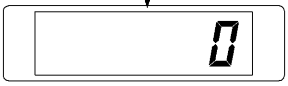
6－2 「LED表示部」の意味と操作



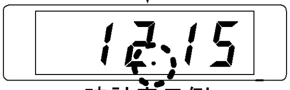
設定操作時以外は、以下の表示状態になります。

（1）照明器具への調光信号線短絡時
詳細は8項（P9）「施工後の確認」を参照ください。

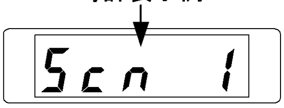
（2）通常時の表示
通常時は、時計表示になります。
［自動］ボタンを押すごとに右図の順に時計→現在状態→累積点灯時間と切り替わりますが、「現在状態」は運転の状態により、以下の①～③3つのモードの表示のいずれかになります。



合計の点灯時間
（累積点灯時間）



時計表示例

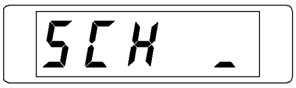


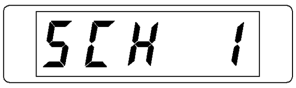
現在状態表示例

① 「一時調光モード」
調光状態を一時的に変更して確認いただく場合である状態を示します。
操作は、P10を参照ください。

一時調光モード

② 「スケジュール（自動運転）モード」
設定したスケジュール内容で、自動運転している状態を示します。
操作は、P16を参照ください。
電源をはじめてONした時はの表示になります。





スケジュールモード
（数字は1～8）

③ 「シーン調光モード」
スケジュール運転をおこなわず、表示したシーンNoに記憶した状態で、運転中であることを示します。
操作は、P14を参照ください。

シーン調光モード
（数字は1～8）

7. 施工方法とご注意

「5－3　信号端子台接続図」を参照の上、コントローラ端子台に、電源ケーブル および、各信号線を配線してください。
（調光信号線、昼光センサ信号線、外灯センサ信号線、外灯用出力信号線をまとめて、各信号線と表現します。）
端子台はネジ無し端子です。ケーブルは必ず単線をご使用ください。
接触不良による温度上昇や焼損の原因となりますので、より線はご使用にならないでください。

（1）電源電線の接続

① 電源線の被覆を電源端子台のストリップゲージに合わせてむいてください。（13±1mm）
② 電源線を電源用端子台の電源表示穴へ確実に差し込んでください。

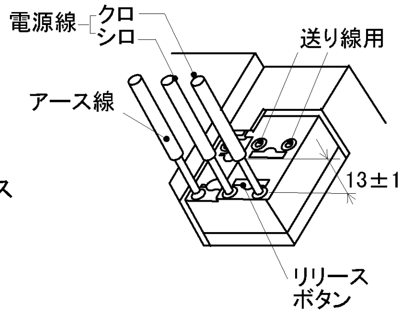
⚠ 警告	接続が不完全な場合は接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

- 電源線をはずすときは、電源を切ってからマイナスドライバーまたはプラスドライバーをリリースボタンに差し込んで、電源線を引き抜いてください。

⚠ 警告	感電の原因になります。電源線をはずすときは必ず電源を切ってください。

電源用端子台

（適合電線φ1.6～φ2.0VVF）

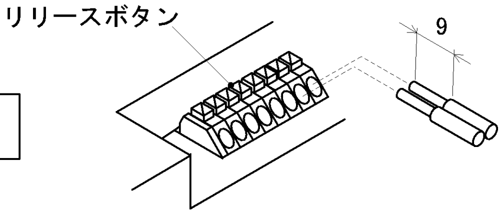


（2）調光信号出力線および信号線の接続

信号端子台への結線は以下ご注意の上行なってください。

信号端子台

（適合電線φ0.9～φ1.2銅単線）



① 信号出力線の被覆を表示ラベルのストリップゲージにあわせてむき（9mm）、本体の端子穴へ確実に差し込んでください。

⚠ 注意	接続箇所を間違えると、故障の原因になります。

②照明器具への調光信号線
照明回路に合わせて接続してください。

ゾーン1照明器具	ゾーン2照明器具	ゾーン3照明器具	ゾーン4照明器具
端子1－2	端子3－4	端子5－6	端子7－8

※この信号線には極性はありません。
※コントローラ～末端照明器具までの配線長は、AE線φ0．9～1．2で200m以下です。

③センサ
組み合わせて使用するセンサを、接続するセンサ端子№. に下表のように接続してください。

あかりセンサ	
センサ端子	コントローラ端子
12V	Vc
SIG	S
GND	E

昼光センサ	
センサ線	コントローラ端子
アカ	Vc
キイロ	S
クロ	E

外灯センサ	
センサ線	コントローラ端子
アカ	Vc
キイロ	S
クロ	E

※信号線には極性がありますので、ご注意ください。
※極性を間違えると動作しません。
※コントローラ～センサ間の配線長は、AE線φ0．9～1．2で100m以下です。

④外灯用信号
電灯分電盤内等の対応する端子に接続してください。

外灯用信号	
コントローラ端子	分電盤
＋ －	DC12V補助リレー端子

（3）コントローラを、ご指定の場所に取り付けしてください。

　①化粧プレートを外して、　穴を使用して取り付けてください。

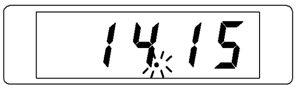
　②取り付け後、再度化粧パネルを取り付けてください。

（4）総合的な配線チェックを行なった後、コントローラ電源を接続してください。

（5）電源接続後、コントローラの確認、設定をおこなってください。

8. 施工後の確認

（1）電源ON後の表示は、右図のようなLED4桁の時計表示
（数字表示）となります。



電源ON後表示例

（2）電源ON後、LED表示部に右図のような表示が出ている場合は、
コントローラ端子台から照明器具への調光信号配線が、
末端器具までの間で短絡している場合の表示です。
配線を再度確認してください。
短絡原因が除去されれば、そのゾーン№.の表示点滅は止まります。

配線が正常になったなら、「自動」ボタンを3秒以上押してください。
ブザーが鳴り、LED表示部は、時計表示になります。

ゾーン1短絡時「1」が点滅

ゾーン2短絡時「2」が点滅

ゾーン1，ゾーン3短絡時「1」「3」が点滅

（3）調光動作の確認
各ゾーンが、正しく調光動作するか、明るさを一時的に
変更して確認をします。

注）ボタン操作は、操作途中で約1分間操作がないと、
時計表示に戻ります。
その場合は、①項から操作を繰り返してください。

① [手動] ボタンを約3秒間押して、ブザーがピッと鳴り、
右図の表示になります。

② [1] ボタンを押して右図の表示にします。
左端の数字はゾーン№.を、右側の点滅している数値は、
調光％を表します。

（調光％は点滅表示）

③ [▲] または [▼] ボタンで表示数値を
右図のようにします。

（調光％は点滅表示）

④ [セット] ボタンを押してください、ブザーがピッと鳴り、数字点滅が停止し、
照明器具明るさが暗く（30％の明るさ）なります。
ここで設定する数値は、明るさ変化が目視で確認できる調光％で、
必ず30％である必要はありません。
「1－000」と入力すると消灯します。

⑤ 続けて、再度明るさを変更する場合は、[1] ボタンを押し、③、④項の操作をしてください。

⑥ 時計表示に戻ってしまった場合は、①項から操作してください。

⑦ゾーン1に接続した照明器具が、調光することを確認してください。
調光しない場合は、配線などの確認をお願いします。

⑧ 前記①～⑦を [2] ～ [4] ボタンについても行い、各ゾーンの調光動作を確認してください。

⑨ ボタン操作したゾーン番号と、異なるゾーンの明るさが変化する場合は、調光信号配線を確認してください。
また、「ゾーン番号—000（ゼロ）」を入力し、 [セット] 操作をした場合でも、そのゾーンの照明回路が
消灯しない 場合は、照明器具への調光信号線が、短絡していることが考えられます。

⑩ 確認が終了した後は、 [自動] ボタンを3秒以上長押ししてください。

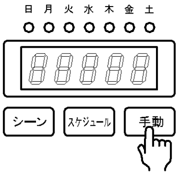
（4）センサを接続してご使用の場合は、各センサ～コントローラまでの配線を確認後、
取扱説明書＜拡張機能編＞を参照して、設定、確認をおこなってください。

9. まず調光してみるには（一時調光モード）

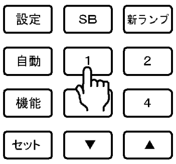
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

このコントローラで調光する照明器具の明るさ（調光％）を決めるために、実際の明るさを確認したい場合、
「一時調光モード」で明るさを変えてみることが可能です。
ここで操作する調光％は一時的なもので記憶されません。
<u>コントローラ電源をOFFした場合や、停電があった場合は、リセットされますのでご注意ください。</u>
電源OFFでも設定値を保持する必要がある場合は、後述の「シーン調光モード」の操作が必要です。
一時調光モードでの調光制御は、初期照度補正制御をおこないません。

① [手動] ボタンを約3秒間押して、ブザーがピッと鳴り、
右図の表示になります。



② [1] ボタンを押して右図の表示にします。
左端の数字はゾーンNo.、点滅している箇所の数値は、
調光％を表します。



（070は点滅表示）

③ [▲] または [▼] ボタンで設定したい調光％の
数値にします。

（030は点滅表示）

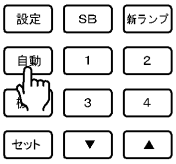
④ [セット] ボタンを押してください。
ブザーがピッと鳴り、数字点滅が停止し
照明器具明るさが設定した明るさに
なります。

⑤ 「1－000（ゼロ）」と入力すると、ゾーン1は、消灯することができます。

⑥ 続けて、他のゾーンの明るさを変更する場合は、他のゾーン番号の数字
ボタンを押して、③～④の操作をしてください。

注）ボタン操作間隔を、1分以上空けると自動的に時計表示に戻ります。
その場合は、①項から再度操作をしてください。

⑦ 確認が終了した後は、 [自動] ボタンを短く押してください。
[自動] ボタンを押すと、現在の自動状態での制御状態に変わります。
自動運転の為のシーンやスケジュール設定をおこなっていない
場合は、工場出荷時の状態で点灯します。



10. 基本設定

10－1 設定内容について

(1)時刻・曜日設定

時刻・曜日の設定を行います。この設定は、タイムスケジュール制御を行うために必要となります。

(2)ランプ寿命おおよび補正率設定

このコントローラは、照明器具が点灯した累積時間に応じて、明るさを補正する初期照度補正制御を行います。
この機能を正しく行うために、ご使用開始前に、組み合わせる照明器具，ランプに応じて、ランプ寿命時間と、補正率の設定を行います。この設定は、各ゾーン毎に設定を行います。
補正率は、一般的には、蛍光ランプの場合30%，LED器具の場合23%に設定しますが、詳細はお問い合わせください。
初期照度補正と補正率の詳細については、10－3項(P13)および、この取扱説明書末尾の参考資料で説明しています。

(3)シーン設定

このコントローラは、ゾーン毎に異なる明るさの設定ができ、各ゾーン毎の明るさ設定内容を、あらかじめ設定・記憶します。
この4ゾーンの明るさ制御設定内容の組み合わせをシーンと呼びます。
シーンは最大8シーンまで設定・記憶ができます。
シーンには次の3つの運転モードがあります。シーン内容を設定する時に、いずれか選択して設定をおこないます。
この設定は各ゾーン毎に設定をおこないます。

①固定調光シーン

常に一定の調光状態で制御するシーンです。設定は、調光%，フェード時間を設定します。

②あかりセンサ調光シーン

あかりセンサと組み合わせ、制御するシーンです。設定は、目標照度(lx)，上限調光%，下限調光%，フェード時間です。
あかりセンサ調光シーンを使用するためには、別売のあかりセンサ子機(DF－20205NX)との組み合わせが必要です。
(あかりセンサの設定のしかたは、取扱説明書＜拡張機能編＞の記載しています。)

③昼光センサ調光シーン

昼光センサと組み合わせ、制御するシーンです。設定は、制御上限調光%，制御下限調光%，フェード時間です。
昼光センサ調光シーンを使用するためには、別売の昼光センサ(TMSNJ02A)との組み合わせが必要です。
(昼光センサの設定のしかたは、取扱説明書＜拡張機能編＞に記載しています。)

※フェード時間とは、シーンから次のシーンに明るさが徐々に切り替わる時間を意味します。
フェード時間設定は、調光10%が変化する時間を設定します。1分～90分まで設定ができます。
出荷時は1分に設定しています。特別な事情が無い限り、フェード時間は、出荷時設定のままで、改めて設定する必要はありません。
例えば、1分に設定した場合では、30%から70%に明るさが変化する時のフェード時間は4分になります。

(4)スケジュール設定

このコントローラは、タイムスケジュールでの自動運転を行います。
タイムスケジュールは、どの時刻に、記憶済みのどのNoのシーンを再生するかを決める、「日スケジュール」と、設定した「日スケジュール」を、どの曜日に再生するかを決める、「週間スケジュール」設定をします。
スケジュール設定の前に、シーン設定が必要です。

(5)センサーの設定

あかりセンサ，昼光センサ，外灯センサを組み合わせて使用する場合は、各々センサーの設定が必要です。
別冊　取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。
＜拡張機能編＞は、弊社ホームページからダウンロードができます。

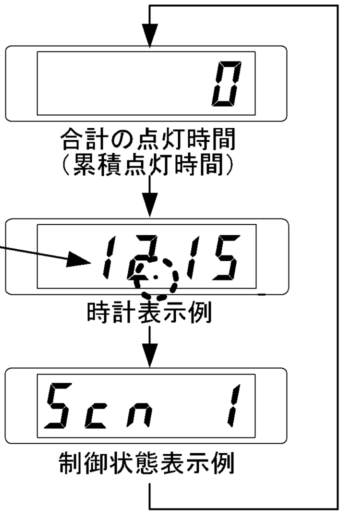
※設定した内容は、停電があっても消去されません。ただし、時計は、約1週間以上停電が継続すると、時刻合わせが必要になります。

注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

10－2 時計の設定

（1）時刻・曜日設定

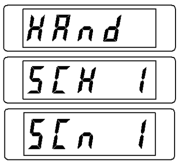
① コントローラを正常に動作させるために、必ず時計合わせが必要です。
電源接続後に行なってください。
時計は24時間計です。



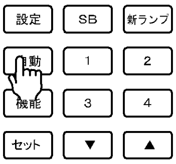
② 時計が現在時刻と合っている場合は、時計合わせは不要です。

③ [自動]ボタンを押して、4桁数字表示の間に[.]表示が出る状態にしてください。
[自動] ボタンを押すごとに、右図の順に表示が変わりますので、時計表示にしてください。

制御状態表示は

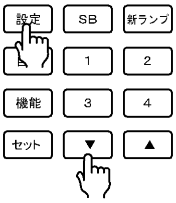


のいずれかを表示します。

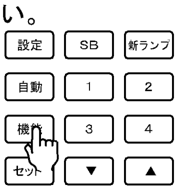


④ [設定]ボタンを約3秒以上押してください。
"時"の2桁が点滅します。

⑤ [▼] または [▲] ボタンを押して現在の"時"を設定してください。

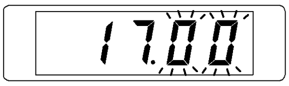


⑥ "時"設定が終了したなら、[機能] ボタンを押してください。
LED表示部の右側2つのLEDが点滅します。
（設定した"時"の表示は点滅せず、点灯状態です）
この状態で"分"の設定が可能となります。

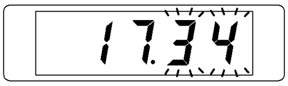


"時"設定時の表示例

⑦ [▼] ボタンまたは [▲] ボタンを押して現在の"分"を設定してください。

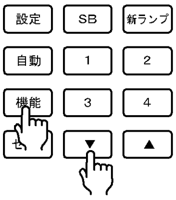


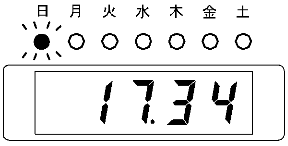
"分"設定前の表示状態



"分"設定時の表示例

⑧ "分"の設定が終了したなら、[機能] ボタンを押してください。曜日のLEDが点滅します。
[▼] [▲] ボタンを押すと曜日LED表示が、順次移動しますので、現在の曜日に表示をあわせてください。





"時""分"曜日設定終了の表示例

⑨ 再度"時"を合わせ直す場合は、[機能] を押して表示を"時"設定状態にしてください。

⑩ 設定が終了したなら、[セット] を押してください。
"ピッ"とブザーが鳴って設定が完了です。
数字の点滅は止まります。

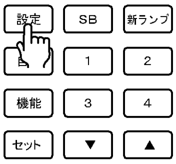
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

10-3 初期照度補正の設定

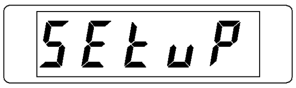
（1）ランプ寿命および補正率設定

パネル表面の「ランプ交換時期お知らせLED」表示で、ランプ寿命をお知らせします。
ご使用になる照明器具のランプ寿命を設定してください。
初期設定は12000時間です。

① [自動] ボタンを押し、時計表示以外の状態にしてください。



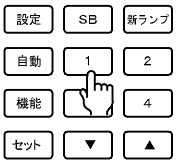
② [設定] ボタンを3秒以上押してください。
右の表示になります。

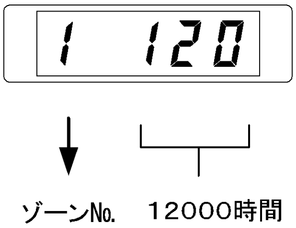


③ [▼] または [▲] ボタンを押し、右図の表示にしてください。
（表示はボタンを押す毎に変わります。）

④ [セット] ボタンを押してください。
ブザーが鳴り、⑤の表示に変わります。

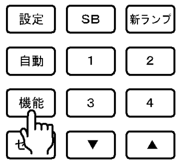
⑤ 数字ボタンで設定するゾーン番号を選択してください。
ここでは、ゾーン1を例にします。
表示は100時間単位の表示になります。
120なら寿命時間は12000時間
400なら寿命時間は40000時間
です。

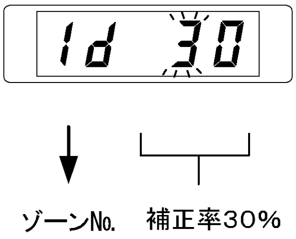




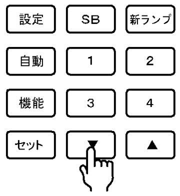
⑥ [▼] または [▲] ボタンで、設定するゾーンの寿命時間を設定します。ボタンを1回押すごとに、百時間の桁が1づつ変わります。
[▼] または [▲] を長押しすると早送りします。

⑦ 次に補正率を設定します。
[機能] ボタンを押してください。
右図の表示になります。





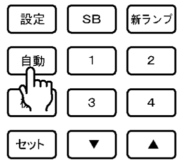
⑧ [▼] ボタンまたは [▲] ボタンで、設定するゾーンの補正率を設定します。
「0」に設定すると、初期照度補正制御はおこないません。常に、設定した同じ調光率で運転します。



⑨ 設定が終了したなら、[セット] ボタンを押してください。
ブザーがピッと鳴り、寿命時間と補正率設定が完了です。

⑩ 同様に、次のゾーンの寿命時間と補正率を、同様に③から操作して設定してください。すべてのゾーンの照明器具が同一でも、1～4各ゾーンの設定をおこなってください。

⑪ すべて終了したなら、[自動] ボタンを短く押してください。
通常の時計表示に戻ります。



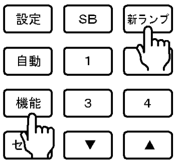
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

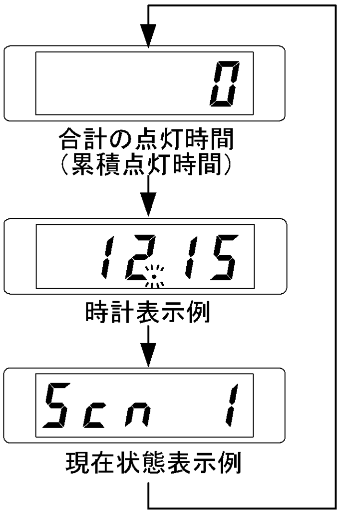
＜参考＞
おもな当社製ランプ、および調光用ＬＥＤ器具のランプ期待寿命は以下の通りです。
（２０１２年３月現在）
①蛍光ランプ
ＦＨＦ３２，ＦＨＦ８６，ＦＨＰ４５・・・・・・・・・１２０００時間
ＦＨＴ３２，ＦＨＴ４２・・・・・・・・・・・・・・・・１００００時間
②ＬＥＤ器具
ＬＥＤ一体形ベースライト　ＬＥＤＴ（Ｒ）シリーズ・・４００００時間
直管形ＬＥＤベースライト　ＬＤＬシリーズ・・・・・・４００００時間
ＬＥＤ一体型ダウンライト　・・・・・・・・・・・・・４００００時間
ＬＥＤ高天井器具　　　　　ＬＥＤＪシリーズ・・・・・６００００時間
③ＨＩＤランプ
ネオセラ　ＭＴ１００ＦＣＨＥ２シリーズ・・・・・・・１６０００時間
ランプ寿命は、変更する場合がありますので、設定をする時にランプまたは照明器具のカタログを参照し確認をしていただくか、当社営業担当へお問い合わせください。

注）ＬＥＤ器具は、直管形ＬＥＤベースライトと一部商品を除き、ランプ交換はできません。

（2）累積点灯時間について

このコントローラは、最初に電源ONしてから、合計のランプ点灯時間を累積し、累積点灯時間として表示します。
[自動] ボタンで選択し、右図の表示で確認ができます。
数字ボタンを押すと、ゾーン番号毎の累積点灯時間を表示します。
ランプ寿命後に [新ランプ] ボタンでリセット操作をすると、再度0時間から、積算を開始します。
累積点灯時間は、各ゾーン毎にリセットすることができます。
リセット操作については、16項（P26）「ランプ交換時の操作」を参照してください。





11. 運用の設定

11－1 シーン設定（シーン調光モード）

（1）シーン設定の流れ

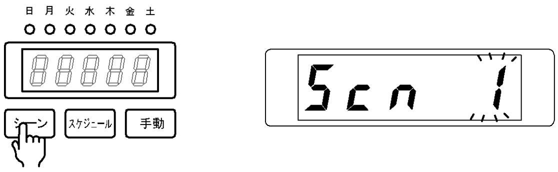
シーンの設定は次の操作の流れで行います。

a. 設定するシーン№を選ぶ。
⇩
b. 設定するゾーン№を選ぶ。
⇩
C. 設定するゾーンの調光動作が、固定調光，あかりセンサ調光または昼光センサ調光を選択します。
⇩
d. 調光％を設定する。
⇩
e. [セット] 操作。
⇩
f. 自動に戻します。

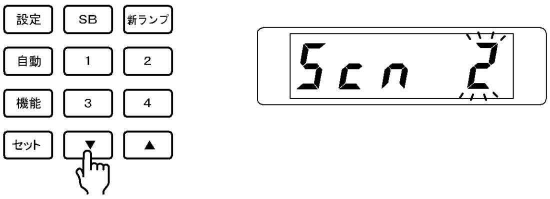
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

（2） 固定調光シーンの設定

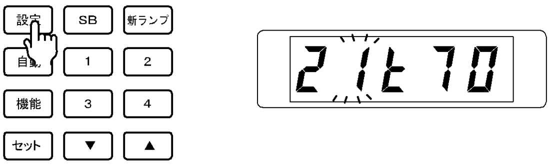
① [シーン] ボタンを長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、右図のシーンNo.
の表示状態になります。
数字が点滅します。

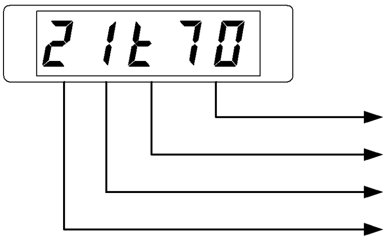


② [▲] または [▼] ボタンで設定する
シーンNo.を表示してください。
ここでは、シーン2を例にします。



③ [設定] ボタンを3秒以上長押ししてください。
右図の表示になり、ゾーンNo.表示が点滅します。
表示内容は、以下を示しています。

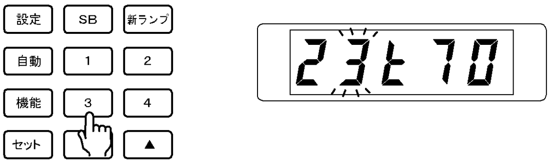




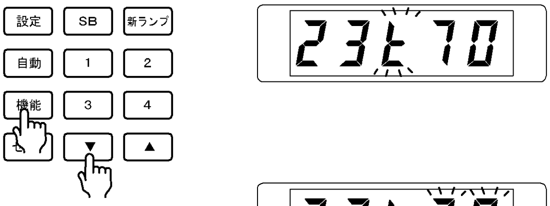
→ 調光%（00は100%を示します。）
→ 調光モード;t:固定調光，L:あかりセンサ調光，G:昼光センサ調光
→ ゾーンNo.
→ シーンNo.

※「あかりセンサ調光」「昼光センサ調光」については、別冊DF－70403取扱説明書＜拡張機能編＞を参照してください。

④ 設定するゾーンNo.ボタンを押し、
ゾーンNo.を確認します。

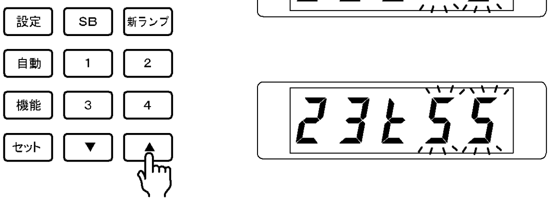


⑤ [機能] ボタンを押して調光モード
が点滅する状態にしてください。
[▲] または [▼] ボタンで「t」が
点滅する状態にしてください。

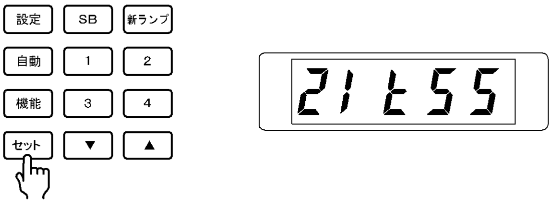


⑥ [機能] ボタンを押して調光%が点滅する
状態にしてください。

⑦ [▲] または [▼] ボタンで、調光%
を入力します。
[▲] または [▼] を押し続けると
調光%を早送りします。
右図は、55%にした場合です。



⑧ [セット] ボタンを押してください。
ブザーがピッと鳴り、調光%の点滅から
点灯状態になり、設定内容が確定します。



⑨ 同様に、他のゾーンNo.に対応する数字ボタンを
押し、他のゾーンの調光%を設定します。
次のシーンを設定する場合は、[自動] ボタンを押し、
時計表示状態にした後、（2）①から同じように設定を
おこなってください。

注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

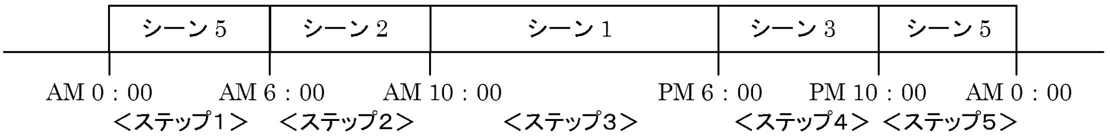
11－2 スケジュール設定

（1） 日スケジュール設定

日単位で、時刻毎に記憶したシーンを切り替えることができ、これを日スケジュールと呼びます。
日スケジュールでは、1日に最大8回シーンを変更することができます。（8ステップ）
さらに、スケジュールは、最大8種類（8スケジュール）まで登録することができ、（2）項の週間スケジュールに割り当てを行います。
このコントローラにはカレンダーがありません。このため、カレンダーでのスケジュール運転の変更はできません。
各シーンの切り替えは変化が気がつかないように、徐々に切り替わります。

＜スケジュール構成例＞

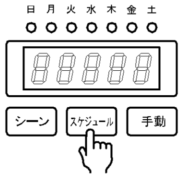
スケジュール1

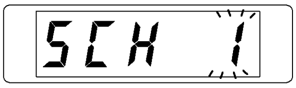


※スケジュール運転の、各シーン切り替えをステップとよびます。

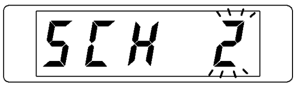
※日スケジュールの設定前に、必ずシーン設定を行ってください。

① [スケジュール] ボタンを3秒以上長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、右図の表示になります。
スケジュール1を設定する状態になります。

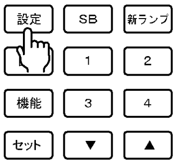


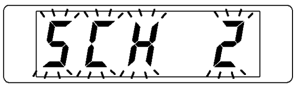


② [▲] または [▼] ボタンで設定するスケジュールNo.を決定します。

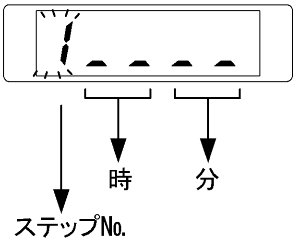


③ スケジュールNo.が決定したなら、
[設定] ボタンを3秒以上長押ししてください。
表示全体が点滅状態になります。



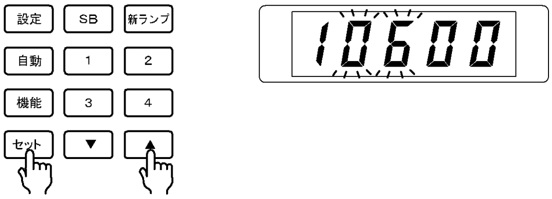


④ [セット] ボタンを押します。ピッとブザーが鳴り左端のステップNo.だけが点滅する、右図の表示になります。
スケジュール1のステップ1の開始時刻を設定する状態です。
すでに、スケジュールが入力してある場合は、時，分には数字を表示します。
[▲] または [▼] ボタンでステップNo.を設定してください。



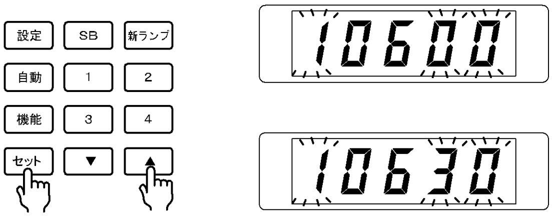
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
　その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

⑤ 続いてもう一度 [セット] ボタンを押すと、ステップNo.と「時」の桁が点滅しますので、[▼] または [▲] ボタンで「時」を設定してください。
右図は、6時を設定した例です。

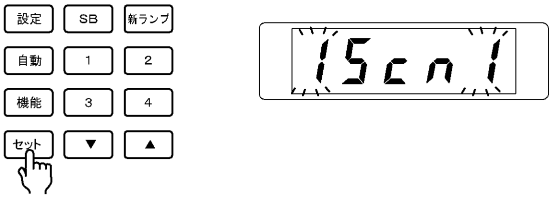


⑥ [セット] ボタンを押して「分」の桁を点滅させ、[▼] または [▲] ボタンで「分」を設定してください。

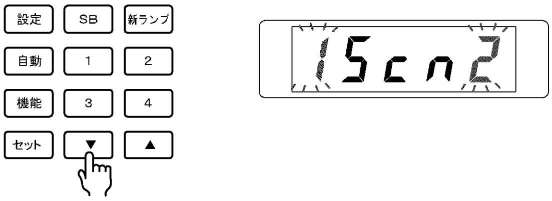
右図は、6時30分に設定した例です。



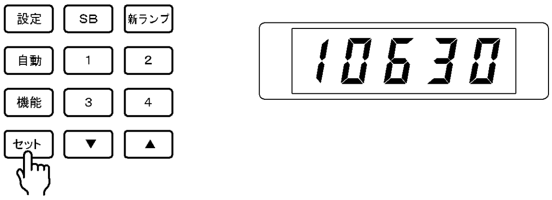
⑦ [セット] ボタンを押してください。
右図の表示となり、現在設定中のステップに割り付ける、シーンNo.の設定状態になります。



⑧ [▼] または [▲] ボタンで設定するシーンNo.を選んでください。
右図は、シーン2を選択した例です。

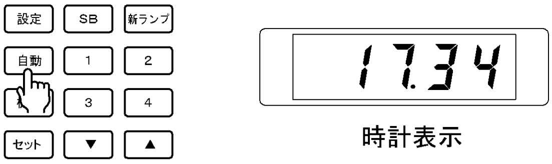


⑨ [セット] ボタンを押してください。
ブザーがピッと鳴って、ステップ1の設定内容が記憶され、表示は④の状態に戻ります。
次のステップを同じように設定してください。



⑩ 設定中のスケジュールに設定するステップがすべて設定し終わったなら、最後に [自動] ボタンを短く押してください。
表示は、右図のようにスケジュールの設定状態になります。
③項から、同様に次のスケジュールを入力、設定してください。

⑪ スケジュール設定がすべて終了したなら、もう一度 [自動] ボタンを短く押してください。
ブザーがピッと鳴り、時計表示に戻ります。



時計表示

※この状態では、まだスケジュール運転は行いません。次の週間スケジュールの設定が必要です。

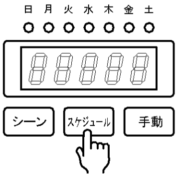
注)ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

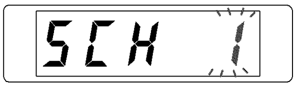
(2) 週間スケジュール設定

設定した日スケジュールを、各曜日に割り当てることにより、曜日によって異なったスケジュールで運転することができます。

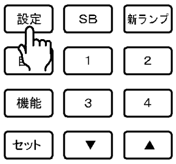
※週間スケジュールの設定前に、必ず日スケジュール設定を行ってください。

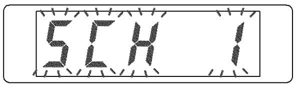
① [スケジュール] ボタンを長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、右図のようにスケジュールNo.
の表示状態になります。



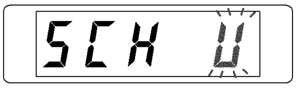


② [設定] ボタンを長押ししてください。
表示全体が点滅します。

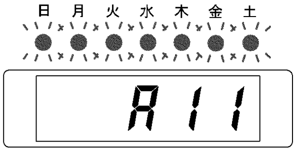




③ [▼] または [▲] ボタンで、表示を右図の
「週間スケジュール設定状態」にします。

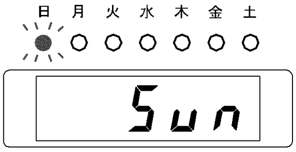


④ [セット] ボタンを押すと、ブザーがピッと鳴り、
右図の表示になります。
この時、曜日LEDはすべて点灯します。



⑤ [▼] または [▲] ボタンを押すごとに、
表示が下記のように変わります。
設定する曜日を選択します。

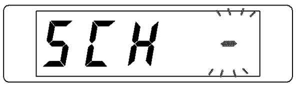
全ての曜日LED点灯	+	ALL	:	毎日同じスケジュール番号
日曜日のLED点灯	+	Sun	:	日曜日のスケジュール番号
月曜日のLED点灯	+	non	:	月曜日のスケジュール番号
火曜日のLED点灯	+	tuE	:	火曜日のスケジュール番号
水曜日のLED点灯	+	Ued	:	水曜日のスケジュール番号
木曜日のLED点灯	+	thU	:	木曜日のスケジュール番号
金曜日のLED点灯	+	Fri	:	金曜日のスケジュール番号
土曜日のLED点灯	+	SAt	:	土曜日のスケジュール番号



日曜日の設定状態例

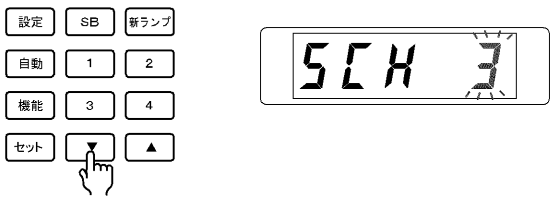
※全ての曜日と該当曜日のスケジュールを両方設定した場合は、
その曜日のスケジュールを再生します。

⑥ 設定する曜日を選択したなら、[セット] ボタン
を押してください。表示は右図のようになります。
すでに、スケジュールが設定してある場合は、
点滅部には、スケジュールNo.を表示します。

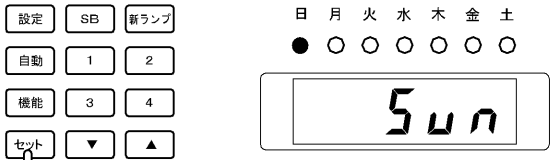


注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
　その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

⑦ [▼] または [▲] ボタンを押して、その曜日に
実行させるスケジュールNo.を選択します。
右図はスケジュール3の例です。



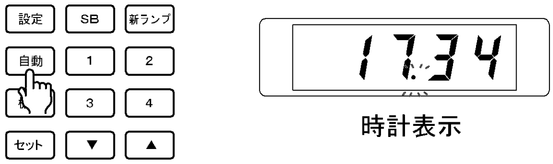
⑧ [セット] ボタンを押します。ブザーがピッと鳴り、
数字の点滅が止まり、設定が確定します。
表示は、⑤の今設定した曜日の表示状態に
戻ります。



日曜日の設定状態例

⑨ 同様に、⑤から繰り返し、他の曜日を設定します。

⑩ すべての設定が終了したなら、[自動] ボタンを
長押ししてください。
時計表示に戻り、スケジュール運転を開始します。



時計表示

⑪ 記憶した週間スケジュールを消去する場合は、
次の操作で行います。

注）設定したスケジュールは記憶した曜日になって初めて実行されます。

11－3 スケジュールの削除

スケジュールデータの削除

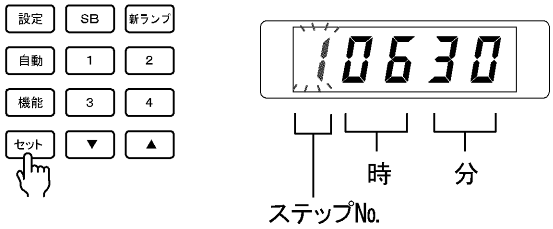
記憶済みのスケジュールデータは、以下の内容を削除することができます。
・日スケジュールの中のステップ単位での削除
・週間スケジュールの中の日スケジュール単位の削除

（1） 記憶済みステップの削除方法

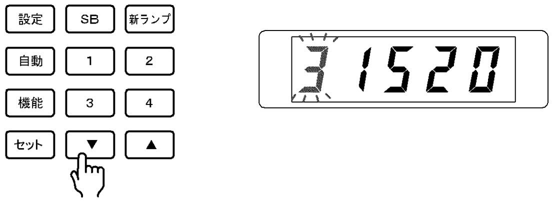
① [スケジュール] ボタンを3秒以上長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、右図の表示になります。

② [設定] ボタンを3秒以上長押ししてください。
表示全体が点滅します。

③ [セット] ボタンを押してステップの
表示状態にしてください。

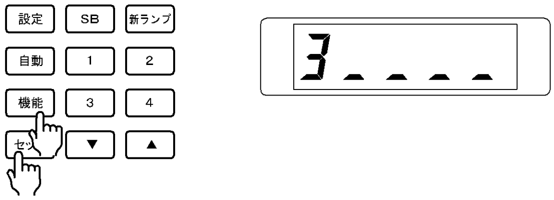


④ [▲] または [▼] ボタンで削除する
ステップNo.を選択し、表示してください。
右図はステップ3を選択した例です。

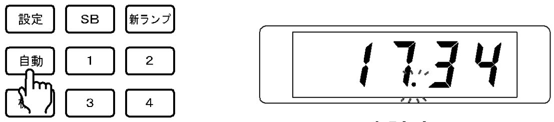


注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

⑤ 削除して良ければ、［機能］ボタンを3秒以上長押ししてください。再度、削除して良いか確認し、［セット］ボタンを押してください。
ブザーがピッと鳴り削除完了し、削除したNo.の時刻表示が消去され、右図の表示になります。
続けて、他のステップを削除する場合は、④から繰り返してください。



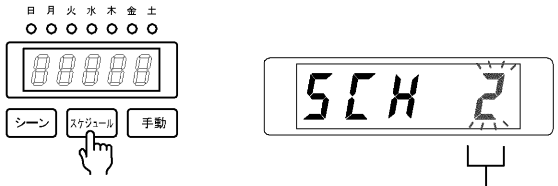
⑥ 次のステップまでは削除した前のステップと同じ状態が継続します。
［自動］ボタンを3秒以上長押しし、時計表示に戻します。



時計表示

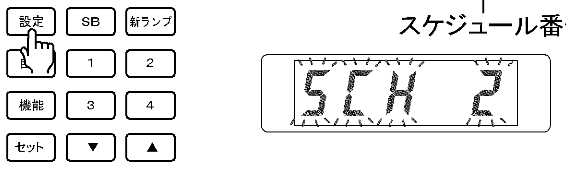
（2） 記憶済み週間スケジュールの削除方法

① ［スケジュール］ボタンを3秒以上長押ししてください。
ピッとブザーが鳴りスケジュールNo.が点滅する表示になります。

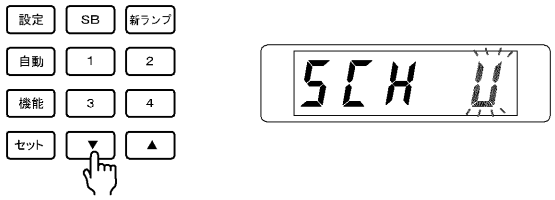


スケジュール番号

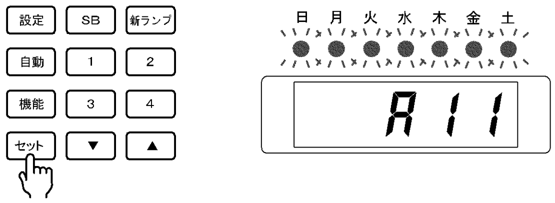
② ［設定］ボタンを3秒以上長押ししてください。
全体が点滅する表示になります。



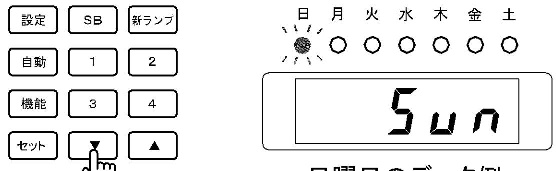
③ ［▼］または［▲］ボタンで表示を右図の「週間スケジュール設定状態」にします。



④ ［セット］ボタンを押すと、ブザーがピッと鳴り、右図の表示になります。
この時、曜日LEDはすべて点灯します。

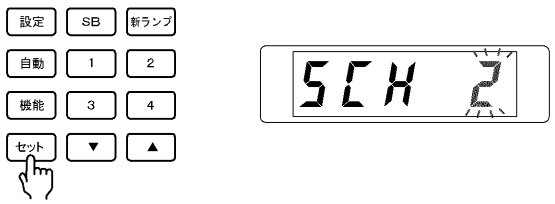


⑤ ［▼］または［▲］ボタンを押し削除する曜日を選択します。
（右図は日曜日のデータの例）

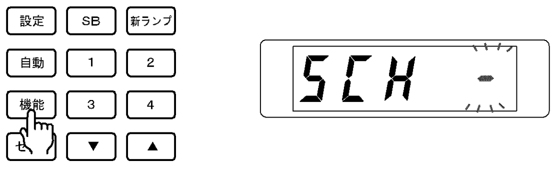


日曜日のデータ例

⑥ ［セット］ボタンを押して削除するスケジュールを表示します。
（右図は日曜日にシーン2が記憶してある例）



⑦ ［機能］ ボタンを3秒以上長押ししてください。
再度、削除して良いか確認し、［セット］ ボタンを押してください。
右図の表示になり、その曜日から、スケジュールデータが削除されます。
続けて削除する場合は、［自動］ボタンを短く押し⑤項から繰り返してください。



⑧ ［自動］ボタンを短く押して、時計表示に戻します。

12. 設定内容の確認方法

注)ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

(1)シーン内容の確認方法

以下の操作で確認します

① [シーン] ボタンを3秒以上長押し⇒シーンNo表示

⇩

② 確認するシーン№を [▲] または [▼] ボタンで選択する。

⇩

③ [設定] ボタンを3秒以上長押しする⇒シーンの内容表示になる。

⇩

④ 数字ボタンでゾーン№を順次切り替え調光%を確認する。
あかりセンサ, 昼光センサ調光を設定してあるシーンは
[機能] ボタンを押して各々の設定確認する。
確認終了後は、[自動] ボタンを押す。

(2)日スケジュールの確認方法

以下の操作で確認します。

① [スケジュール] ボタンを3秒以上長押し⇒スケジュール№表示

⇩

② 確認するスケジュール№を [▲] または [▼] ボタンで選択する。

⇩

③ [設定] ボタンを3秒以上長押しする⇒表示全体点滅表示になる。

⇩

④ [セット] ボタンを押す⇒ステップ内容表示(ステップ№および時刻)

⇩

⑤ [セット] ボタンを3回押し、そのステップの設定シーン№を確認する。
この時、[▲] または [▼] ボタンを押さないように注意してください。
次の [セット] ボタン操作で設定したシーン№が変更されてしまいます。

⇩

⑥ [セット] ボタンを押して、再度、ステップ№と時刻の表示画面に戻ります。

⇩

⑦ 次に確認するステップ№を [▲] または [▼] ボタンで選択します。

⇩

⑧ ⑤～⑥を同様に確認します。

⇩

⑨ 終了後は [自動] ボタンを短く押して、時計表示に戻ります。

(3)週間スケジュールの確認方法

以下の操作で確認します。

① [スケジュール] ボタンを3秒以上長押し⇒スケジュールNo表示

⇩

② [設定] ボタンを3秒以上長押しする⇒表示全体点滅表示になる。

⇩

③ [▲] または [▼] ボタンで、SCH Uを表示⇒ [セット] ボタンを押す。

⇩ (次ページへ)

注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
　その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

⇩（前ページから）

④ [▲] または [▼] ボタンでALLまたは各曜日の、確認する曜日を選択。

⇩

⑤ [ｾｯﾄ] ボタンを押して、設定してあるスケジュールNo.を確認する。
この時、[▲] または [▼] ボタンを押さないように注意してください。
次の [ｾｯﾄ] ボタン操作で設定したスケジュールNo.が変更されてしまいます。

⇩

⑥ [ｾｯﾄ] ボタンを押して、再度曜日表示に戻る。

⇩

⑦ [▲] または [▼] ボタンで次に確認する曜日を選択し、同様に⑤⑥操作を行います。

⇩

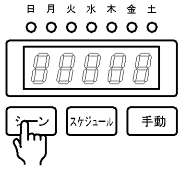
⑧ 終了後は [自動] ボタンを短く押して、時計表示に戻ります。

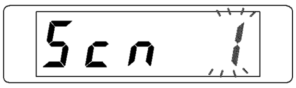
13. 運転の種類と操作

（1）一時調光モード運転
9項の操作を行ってください。（→P10）

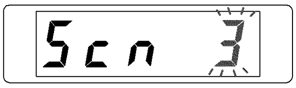
（2）シーン調光モード
スケジュール未登録時や手動選択で決まったシーンを継続して、再生する状態です。

① [シーン] ボタンを3秒以上長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、シーンNo.が点滅します。



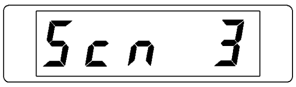


② [▲] または [▼] ボタンで再生するシーンNo.
を選択します。



（選択の例）

③ [セット] ボタンを押します。シーンNo.の数字の点滅が
止まり、選択したシーンに切り替わります。

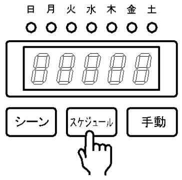


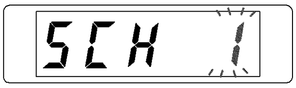
※ この運転は電源OFF→ONでも、電源OFF前の状態は保持します。

（3）スケジュールモード運転
スケジュールモードでの運転は、必ず日スケジュールと週間スケジュールの設定を行ってください。
[自動] ボタンを3秒以上長押しし、自動のスケジュール運転を行います。

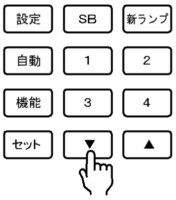
（4）当日スケジュール運転
当日に限って週間スケジュール以外のスケジュールを実行することができます。

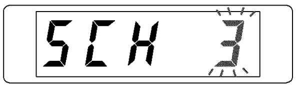
① [スケジュール] ボタンを3秒以上長押ししてください。
ブザーがピッと鳴り、スケジュールNo.が
点滅します。





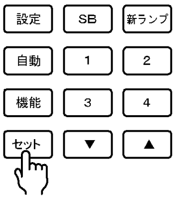
② [▲] または [▼] ボタンで再生する
スケジュールNo.を選択します。

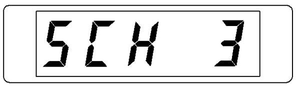




（選択の例）

③ [セット] ボタンを押します。スケジュールNo.の数字
の点滅が止まり、選択したシーンに切り替わります。





※ 翌日にスケジュールが設定されていると、翌日は、そのスケジュールにしたがって動作します。

14. 自動運転中の各種表示の確認方法

注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

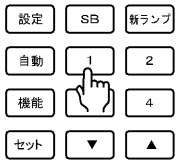
運転中の状態を確認するには

（1）現在の明るさ（調光状態）を知りたい

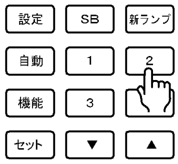
① 時計表示状態、スケジュール表示状態、シーン表示状態のいずれかの時に、確認したいゾーンNo.の数字ボタンをおしてください。
右の例のように現在の調光％を表示します。

※ 表示する調光％は、初期照度補正制御している場合は、補正した実際の調光％を表示します。
設定した調光％ではありませんので、ご注意ください。

例）
設定値70％　寿命時間12000時間,
補正率30％で運転中で、累積点灯時間が1000時間時点の場合　50％を表示します。



ゾーン1　50％の場合



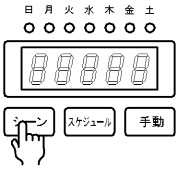
ゾーン2　42％の場合

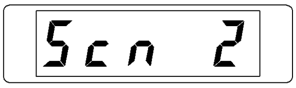
② 他のゾーンNo.の数字ボタンを押すと、そのゾーンの調光％を表示します。

② 表示は約1分間ボタン操作がないと、時計表示にもどります。

（2）現在のシーンを知りたい

① 時計表示，スケジュール表示状態，累積点灯時間表示状態で [シーン] ボタンを、短く押してください。
現在再生中のシーンNo.を表示します。

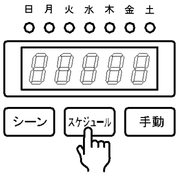


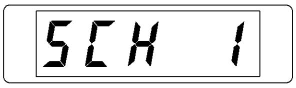


ゾーン2の場合

（3）現在のスケジュールを知りたい

① 時計表示，シーン表示状態，累積点灯時間表示状態で [スケジュール] ボタンを、短く押してください。
現在再生中のシーンNo.を表示します。



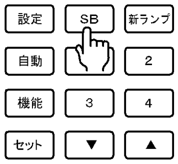


スケジュール1の場合

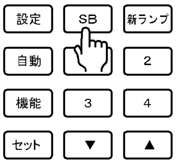
（4）外灯センサー出力の状態を知りたい

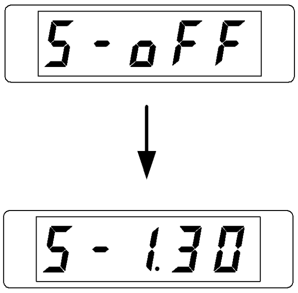
※ 外灯センサーをご使用の場合のみ。
外灯センサーについては、取扱説明書＜拡張機能編＞を参照ください。

① [SB] ボタンを押してください。
右のようにOFFまたはON表示で外灯センサー信号出力状態を表示します。



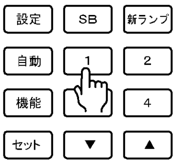
② もう一度 [SB] ボタンを押すと右図のように、外灯センサー の電圧表示をします。
右図は、1．3Vの場合です。





（5）ゾーン毎の累積点灯時間をしりたい。

① 累積点灯時間表示の状態で、各ゾーンNo.の数字ボタンを押してください。
そのゾーンの累積点灯時間を表示します。



1200時間の場合

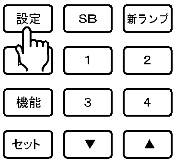
15. 初期状態にもどす

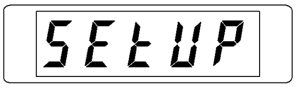
注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

すべての設定内容を初期状態に戻します。設定した内容がすべてクリアされますので、十分注意してください。

① [自動] ボタンを押し、時計以外の表示状態にしてください。

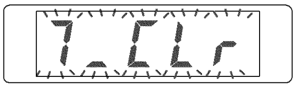
② [設定] ボタンを3秒以上長押しし、右図の表示状態になります。





③ [▲] または [▼] ボタンで、右図の表示状態にしてください。

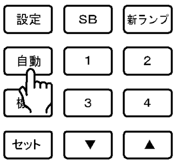
④ [セット] ボタンを押すと、ブザーがピッと鳴り、表示は右図の点滅状態になります。

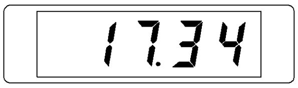


⑤ 初期化して良ければ、再度 [セット] ボタンを押してください。

⑥ 7__CLr の表示に戻り初期化が完了します。

⑦ [自動] ボタンを短く押して、時計表示状態に戻ります。





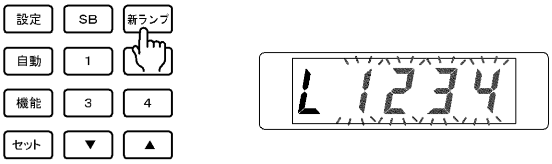
時計表示

16. ランプ交換時の操作

注）ボタン操作の間隔を約1分以上空けたり、何も操作がないと、時計表示に戻ります。
　その場合は、その項のはじめから操作をしなおしてください。

ランプ寿命お知らせLEDの表示が点灯し、ランプ交換を行った後は、以下の操作をして、累積点灯時間を初期状態にもどし、再度ランプ寿命の積算を始める状態にします。
この操作は、ゾーン毎に使用するランプが異なることがあるため、ゾーン毎に操作を行います。
ランプ交換時期お知らせLEDは、もっとも累積点灯時間が経過したゾーンで表示を行います。
この操作を行う前に、各ゾーンの現在の累積点灯時間を控えてください。
誤って操作した場合でも、操作前の時間が控えてあれば、再度設定が可能です。
[自動] ボタンを押して累積点灯時間表示にし、ゾーンNo.ボタンを押してください。
各ゾーン毎の累積点灯時間を表示します。

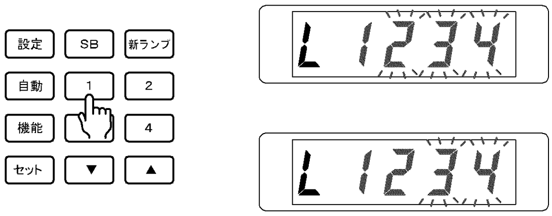
① [新ランプ] ボタンを3秒以上長押ししてください。
表示は右図の状態に変わります。



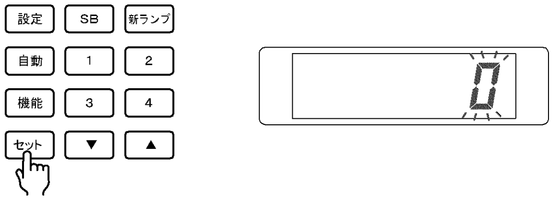
② 初期状態に戻すゾーンNo.のボタンを押してください。

複数または全ゾーンを一括する場合は、順にボタンを押してください。押したゾーンNo.は点滅から点灯表示に切り替わります。

選択したゾーンが点灯、選択していないゾーンは点滅状態ですので注意してください。



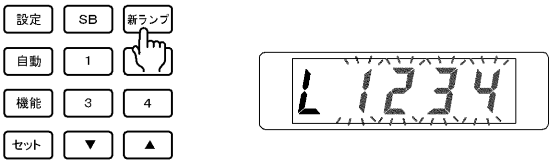
③ [セット] ボタンを2回押すと、ブザーがピッとなり、表示は「0」になります。
累積点灯時間の初期化（ランプ点灯初期の状態）に戻ります。



④ [自動] ボタンを3秒以上長押ししてください。

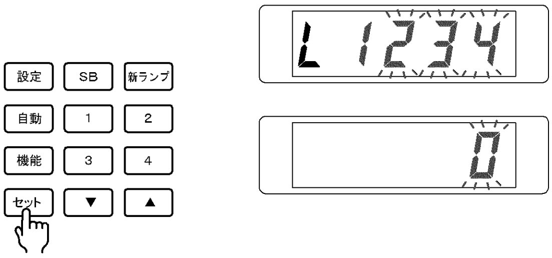
⑤ 間違って初期化してしまった場合は、累積点灯時間を再度設定することができます。

⑥ [新ランプ] ボタンを3秒以上長押ししてください。

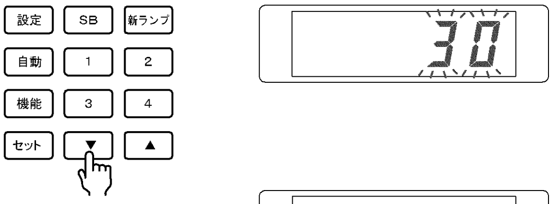


⑦ 再度累積点灯時間を元の表示値に戻すゾーンNo.を押してください。

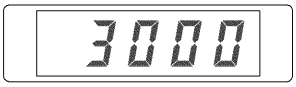
⑧ [セット] ボタンを2回押してください。
ブザーがピッと鳴り、表示が0になります。



⑨ [▲] ボタンで、戻したい累計時間に合わせます。
数字は百時間単位で設定できます。
　　30なら3000時間
　　115なら11500時間になります。



⑩ [セット] ボタンを押します。
ブザーがピッと鳴り、設定が完了です。



⑪ [自動] ボタンを短く押して、時計表示に戻ります。

17. 出荷時の設定

シーン1～8	ゾーン1　70％
	ゾーン2　70％
	ゾーン3　70％
	ゾーン4　70％
フェード時間	1分／10％調光変化
ランプ寿命設定	12000時間
日スケジュール設定	未設定（割り付け未）
週間スケジュール設定	未設定（割り付け未）
初期照度補正	補正率30％（保守率70％）

18. 仕　様

<table>
<tr><td>電　源</td><td colspan="2">AC100V～240V 50Hz60Hz共用</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="2">10W以下</td></tr>
<tr><td>取り付け</td><td colspan="2">深形5個用スイッチボックス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">負　荷</td><td colspan="2">制御台数：器具電源ユニット65台/回路。全回路合計120台以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">リレー駆動用電圧信号：DC12V 1回路</td></tr>
<tr><td rowspan="5">出　力</td><td>出力1</td><td>PWM調光信号出力</td></tr>
<tr><td>出力2</td><td>PWM調光信号出力</td></tr>
<tr><td>出力3</td><td>PWM調光信号出力</td></tr>
<tr><td>出力4</td><td>PWM調光信号出力</td></tr>
<tr><td>出力5</td><td>看板灯用リレー駆動信号出力 DC12V, 0V</td></tr>
<tr><td rowspan="2">センサ</td><td>昼光センサ</td><td>電源DC12V, 信号DC 0～5V</td></tr>
<tr><td>外灯センサ</td><td>電源DC12V, 信号DC 0～5V</td></tr>
<tr><td rowspan="2">配線長</td><td colspan="2">調光信号線　：AE線φ0. 9～1. 2相当 200m以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">センサ信号線 ：AE線φ0. 9～1. 2相当 100m以下</td></tr>
<tr><td>時　計</td><td>24時間時計</td><td>電源同期方式</td></tr>
<tr><td>メモリ</td><td colspan="2">制御データを、内蔵不揮発メモリでバックアップ（停電でも消去されません）</td></tr>
<tr><td>時計バックアップ</td><td colspan="2">時計は電源断で、約1週間バックアップ</td></tr>
</table>

参考資料

（1） 初期照度補正制御とは

照明器具の光源は、点灯時間の経過にしたがい光束低下します。このため一般的に照明設備の設計時には、この低下分を見込んで設計するために、新設時は、明る過ぎになります。この明る過ぎを調光することで抑制し、省エネを図ることができます。

このコントローラは、時間経過と共に、出力する調光信号を、あらかじめ設定した値で補正して制御する、時間制御方式の初期照度補正制御を採用しています。

初期照度補正制御の調光補正は、ランプ寿命と補正率を設定し、より適切な制御を行います。

（2） 補正率とは

照明設計にあたり光源の光束低下や汚れ等を考慮する指数として保守率がありますが、

保守率は、照明器具の光源や構造等、照明設計により異なります。

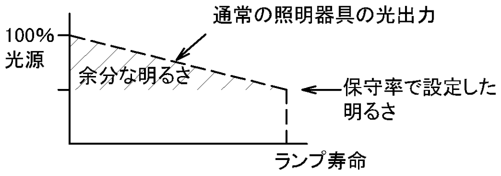
このコントローラは、保守率に応じて補正の仕方を決め、（1）項の初期照度補正レベルを決定します。

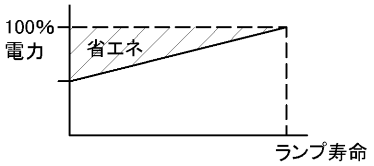
この補正の値を補正率としています。

補正率＝１－照明器具保守率（％値に置き換えた数値）

例えば、保守率0.7の場合は、補正率30％になります。

＜30％＝１－70％＞





初期照度補正のイメージ

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 （通話料：無料）

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 （通話料：有料）

FAX 0570-000-661 （通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL (046) 862-2093 FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 233265C